

取扱説明書番号
D099-RGXD

室内用

電波時計 取扱説明書 (デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2207)

※印は販売店記入

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みのうえご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられないときは、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

お客様相談室 0120-557-005 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してある型番をお伝えください。
例 8RZ〇〇〇 (〇印は数字です。)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ①は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

②は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高温になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

液晶から漏れた液に素手でさわらない
液晶が破損して漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

下記のような場所では使わない
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

GUARANTEE
保証書

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 〇氏名 様

〇住所

TEL() -

※販売店印(所在地、店舗名、電話番号)

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますのでご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小キズ)。
8. 電池の交換。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はかぬ山標準電波送信所」の2か所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

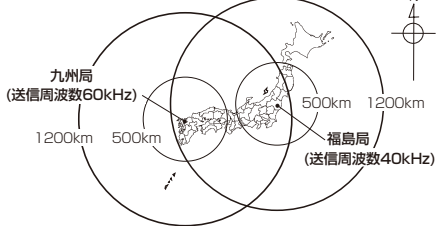
※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるとときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのおよこれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと (液晶表示可読温度範囲 0～40℃)
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(温度が5～35℃のとき)
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 1.5V 2個
電池寿命	約1年 (アラームを30秒/日鳴らしたとき)
標準電波	標準電波を受信して日時を修正
受信局	福島局/九州局自動選択
受信回数	8回/日
受信ON/OFF	あり ボタン操作にて切替可能
受信開始時刻	1時～4時、13時～16時 各時間帯の16分40秒に開始

アラーム機能	セットした時刻にアラームが鳴る
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
アラーム音	電子音
スヌーズ	アラーム音が5分間の一時停止
オートストップ	アラーム音が連続2分間で自動停止
音量調節	なし
カレンダー	2011～2099年対応

温度表示	-9.9～50℃	湿度表示	20～95%RH *相対湿度表示
温度精度	±2℃	湿度精度	±10%RH

照明	スヌーズボタンを押すと約3秒間照明
防塵防滴機能	なし

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。0～40℃になれば正常に表示されます。※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。種類の異なる電池と混ぜて使わないでください。※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

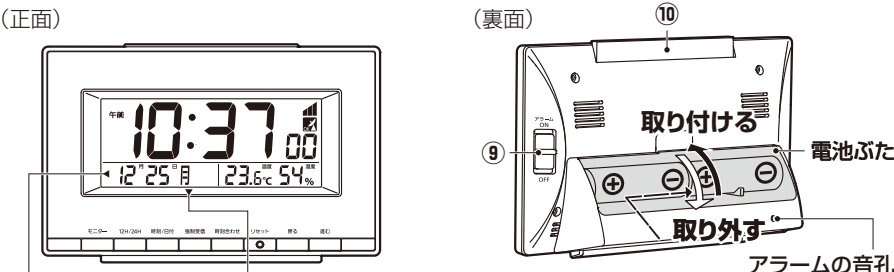
付属品 取扱説明書・保証書 本書

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

電池は付属しておりません。単3形マンガン乾電池を2個ご用意ください。

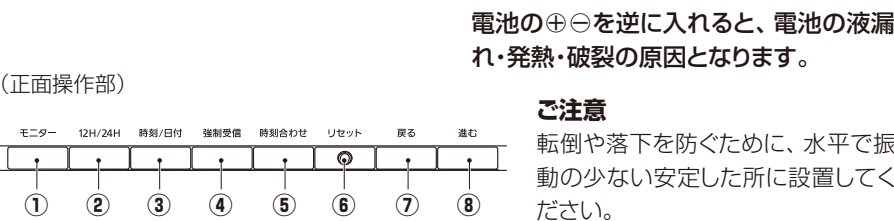
各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



表示はアラームスイッチで変化します。ON:アラーム時刻 OFF:月日または時刻

※時計正面より見てください。液晶は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。



- 1 モニター 2 12H/24H 3 時刻/日付 4 強制受信 5 時刻合わせ 6 リセット 7 戻る(-) 8 進む(+)

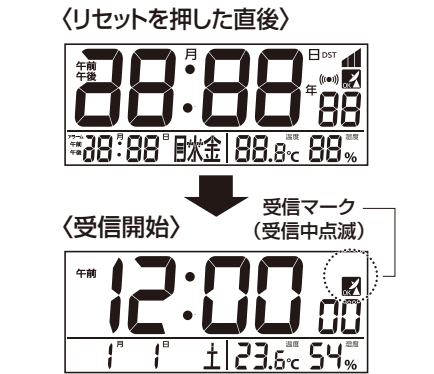
電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、「手動での時刻合わせ」をお読みください。

- 電波を受信しやすい窓際などに置いてください。 ●電池を入れたときやリセットを押すと「ピィ」と鳴ります。 ●受信中はボタンに触れないでください。

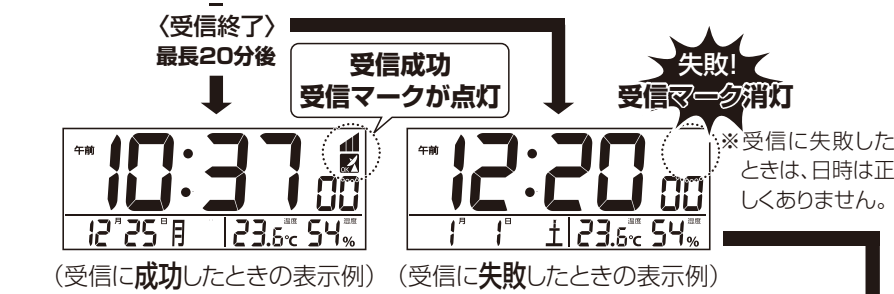
- 1 電池を入れる 2 楊枝などでリセットを押す 3 20分待つて受信結果を確認する

【受信の流れと表示】



電源投入直後およびリセットを押した直後は、2011年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

受信マークの変化(電波サーチ機能) 電波の状態により変化します。



- 受信マークは受信成功後24~25時間点灯。 ●受信に成功しても、電氣的なノイズにより誤った日時を表示することがあります。

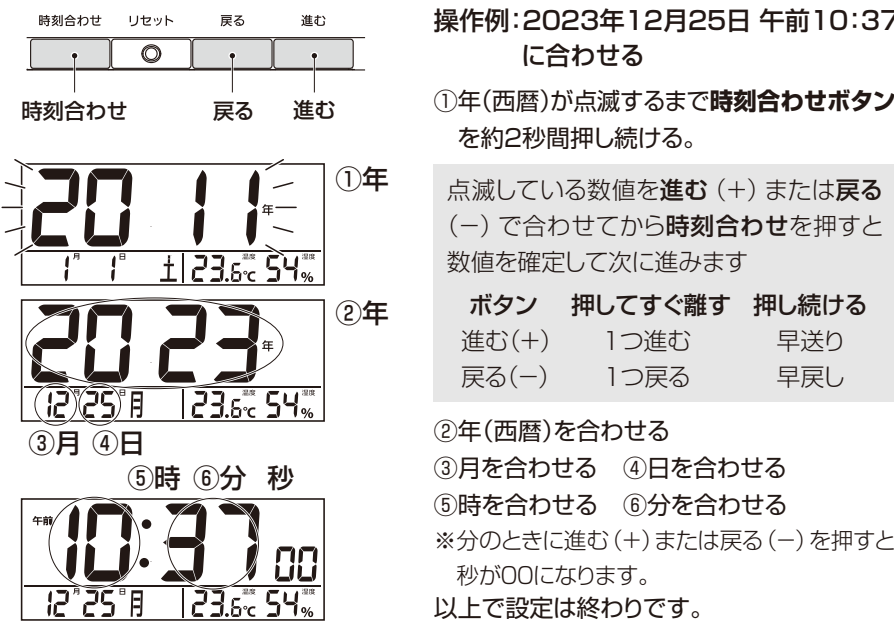
標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく ●場所を変える/受信をやり直す

標準電波を受信できないときには、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ

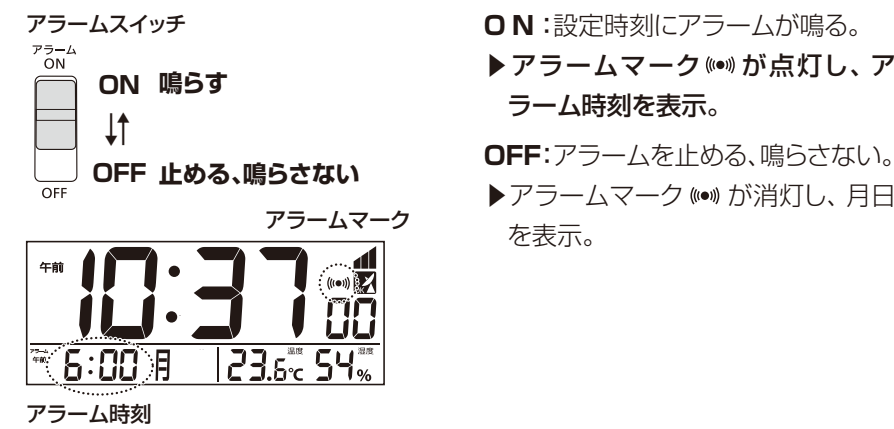
操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時/分)の順に設定してください。



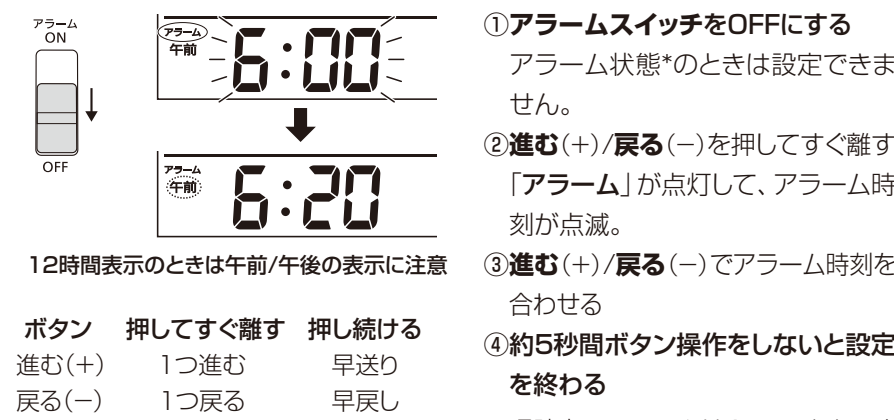
- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。 ●アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。

2 アラーム機能

アラームスイッチのON/OFF設定



アラーム時刻を合わせる



12時間表示のときは午前/午後の表示に注意 ボタン 押してすぐ離す 押し続ける

スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときにスヌーズを押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴りだします。

アラーム音の試聴

モニターを押すと約2分間アラームが鳴ります。途中で止めるには、モニターを押してください。

アラームオートストップ(自動鳴り止め)

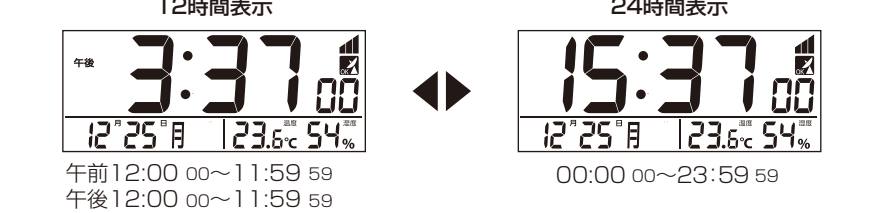
鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。アラームスイッチはONのままです。

表示部の照明

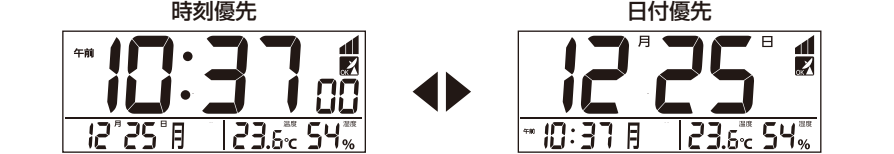
スヌーズを押すと約3秒間液晶表示面を照明します。照明をしたときは、時計上方より見てください。

表示形式の切り替え

12H/24Hを押すと時刻の表示が変わります。



時刻/日付を押すと時刻と日付の表示位置が変わります。



- 電波の受信中 ●アラーム状態 ●アラーム時刻や日時を設定しているとき

温度・湿度表示

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。○センサーが本体内部にあるため、時計周囲の温度・湿度変化をすぐには反映しません。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

- 温度「HH.H」50℃を超える高温 「LL.L」-9.9℃未満の低温 湿度「HH」95%を超える多湿 「LL」20%未満

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能OFF(無効にして手動で日時を合わせる) リセットを約1秒間隔で3回押してください。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。

強制受信とリセット操作

- 強制受信 場所を移動したときなどに、強制受信を押すと受信を開始します。 ●アラームが鳴っているときやスヌーズ中 ●手動で日時またはアラーム時刻を設定しているとき ●受信機能がOFFになっているとき

静電気の影響について

静電気の影響により、表示の一部が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットを押してください。